



青 沼 純 一さん(53)
雅 恵さん(51)

＝水沢区佐倉河字五味田＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

水沢区で農業を営む青沼夫妻。種子用水稲5畝、水稲5畝、ハウスピーマン20アを付する専業農家です。出会いのきっかけはお見合い。「デートのときに、ピーン?と感じたんです」と冗談めかして語る雅恵さん。共通の趣味、話題はなかったのに、不思議と話が合ったそうです。「一緒にいませんか」「いいですよ」と自然に夫婦になりました。

純一さんが農業の道を歩むようになったのは35歳のとき。当時勤めていた会社の事業縮小を契機に、父の後を継いで農業を始めました。その2年後には、雅恵さんも勤めを辞め、夫婦での営農を開始。就農時は4棟だったビニールハウスも、今では7棟まで拡大しました。

農業農村指導士や認定農業者の活動などで家を空けることが多い純一さん。後進の育成にも熱心で、研修生の受け入れも行っています。積極的に行動できるのも、雅恵さんのサポートがあつてのこと。「申し訳ない」と感謝を口にします。

純一さんの「乗る鉄に、「ついでいけない」と語る雅恵さんですが、「農業が暇になったら、乗り鉄抜きでいいから旅行したいね」という純一さんに「たまになら乗り鉄にも付き合いますよ」と笑顔で答えていました。

※乗り鉄：鉄道に乗ることを趣味とする人



佐藤 未唯さん
(江刺区・田原小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「看護師」

——学校での役割は?

放送委員長です。お昼の放送で話したり、リクエストを受けて音楽を流したりしています。放送で話すのは得意じゃないけれど、頑張っています。

——好きな教科はなんですか?

算数です。計算が好きです。幼稚園の年長のときからそろばんを習っていて、今も週2回教室に通っています。

——中学校でやりたいことは?

テニス部に入りたいです。3歳上の兄が、中学校でテニス部に入ったのを見て、面白そうだ

と思いました。今は家で壁打ちしかできないけれど、早くみんなとプレーしたいです。

——将来の夢を教えてください。

看護師です。病院で看護師さんに優しくされ、一生懸命仕事をする姿に憧れたのがきっかけです。病気の人を助けたいなと思っています。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか?

5年生のとき、看護師になりたいと思い、保健委員をしました。今は放送委員ですが、また保健委員をしたいです。



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

20

青春讃歌

水沢工業高校 機械工作部

◎部員数 38人

◎顧問 松川 勇太 先生

高橋 修 先生

◎部長 進藤 和斗 君(3年)

狙うは全国大会入賞 チームワークが勝利のカギ

これまで機械科の生徒だけが入部していた機械工作部に、機械科以外の生徒も集まってくるようになって3年。今では3つの科から38人が集まる大所帯になりました。

部の主な活動は、全国高等学校ロボット競技大会に向けたロボット製作。昨年9月の岩手県選考会では優勝を果たすなど、4年連続全国大会出場中の強豪校です。

「自分たちの強みはチームワーク」と語る部長の進藤君。試合のコートに立つのは操縦者と補助者の2人だけですが、勝利のためには部員全員の結束が欠かせません。「ロボット製作という1つの目標に向けて、科や学年に関係なく協力できている」と部員への信頼をのぞかせます。チームワークの秘訣は、

部活動開始前の挨拶練習、返事と掃除の徹底。「基本的なことが大事。この子たちはそれが出来ている」と顧問の松川先生も太鼓判を押します。

大会は毎年競技内容が変わる厳しいものですが、前大会で操縦者を務めた進藤部長は「緊張でスイッチが分からなくなったが、体は覚えていた」と日頃の積み重ねが成果につながると語ります。

進藤部長に、阿部駿君(3年)、老川竜矢君(3年)、浦川優希さん(2年)の副部長3人を加えたリーダー4人で、2つのチームを率い、全国大会での入賞を目指します。



精度を上げるため、日々研究



清々しい五月晴れが快い季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

岩手競馬は先月4日に水沢競馬場で開幕し、開幕を待ちわびた競馬ファンや家族連れでにぎわいました。今シーズンは、「ENJOY! 岩手競馬」をキャッチコピーに131日間の実施を予定しています。皆さんの熱い声援をよろしくお願いします。

4月11日に奥州湖交流館がリニューアルオープンしました。この交流館は旧胆沢ダム学習館を改装したもので、観光情報の発信と物産販売、休憩所を設けています。観光地を訪れる人たちに胆沢ダムや胆沢の自然、歴史、文化を紹介してまいります。ぜひお立ち寄りください。

ことしも投手、打者の二刀流で挑んでいる大谷選手の活躍

が光ります。日本ハムファイターズのエースとして、4月には負けなしの5連勝としました。本場に頼もしい限りです。けがには十分注意され、ますますの活躍を期待しています。

先月21日に、水沢商業高校の生徒と銘菓処高千代の高橋一隆社長から、ふるさと納税として1万886円を市に寄付いただきました。この寄付金は両者が共同開発した市産米粉100%を使用した焼き菓子「こめんしゅ」の販売収益金で、寄付はことしで3度目となります。これからも生徒と民間事業者のコラボにより奥州銘菓を次々と生み出していただきたいと思います。

春の到来を告げる前沢春まつり、日高火防祭、江刺甚句候にも恵まれ多くの人出でにぎわいました。歴史ある祭りを大いに盛り上げていただいた42歳と25歳の厄年連、年祝連の皆さんありがとうございました。祭りの熱気、皆さんの心意気をまちづくりに生かしてまいります。

奥州市長 小沢昌記